

市民がつくる
市民が学ぶ
市民が拓く
生涯学習情報誌

Stage

月刊ステージ・アップ

up

2000

3

月号【1日発行】

■資格取得支援講座の受講者募集



「サバクヒタキ」 (立川幸夫さん撮影)



いまを話す

野鳥を撮りつづける農民
立川 幸夫 さん
望遠レンズを構えると
ポーズつくる鳥たち!!

■ほんねインタビュー いまを話す

野鳥を撮りつつける農民

立川 幸夫 さん

3

望遠レンズを構えると

ポーズつくる鳥たち!?

■はりきってます グループ紹介

野鳥観察を楽しむ

かわせみ会

8

特技を生かし教える

川崎実年ボランティアの会

●学習・文化情報／会員募集

◆お勧め本

●夜間学級の生徒募集

裏表紙

10

(小誌は再生紙を使用しています)

かわさき市民アカデミー修了式・入学式記念公開講座

体験と創作

講師 黒井千次さん(作家)

日時 3月11日(土) 11時～12時半

申し込み受け付け中

日本とはなにか

講師 網野善彦・神奈川大教授

日時 4月8日(土) 11時～12時半

3月6日(月)受け付け開始

◆会場 生涯学習プラザ (JR武蔵小杉駅下車、徒歩12分)

◆定員 先着各80人 無料

●受講希望の方は ☎ 044(733)6626

市生涯学習振興事業団 学習事業室

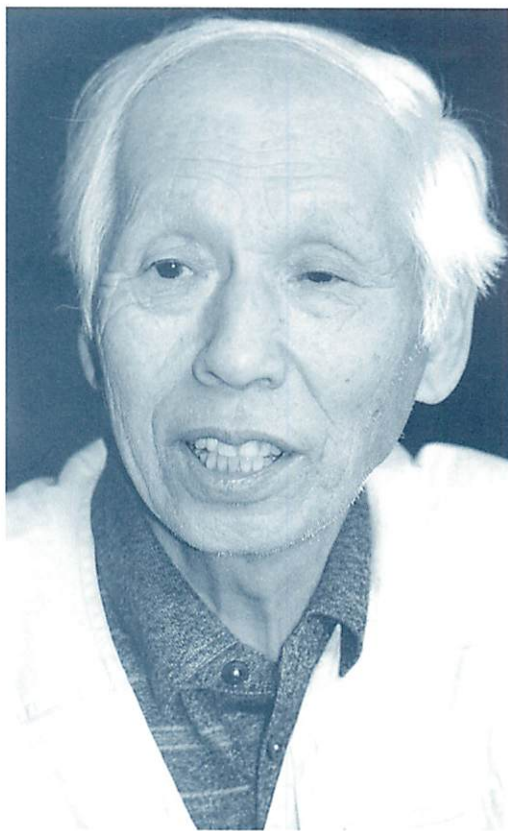
いまを話す

ゲスト

野鳥を撮りつづける農民

立川 幸夫 さん

Vol.82

望遠レンズを構えると
ポーズつくる鳥たち!?

野鳥に惚(ほ)れ、野鳥と心かよわす農民である。麻生区黒川の立川幸夫さん(74)。写真集「野鳥」(カラー、変形B4判)を第四集まで自费出版した。今号の表紙写真「サバクヒタキ」は立川さんの作品。「わたし、美しいでしょ」と話しかけているよう。川崎市域に寄り添うように流れる多摩川。その周辺に、百五十種類の野鳥が飛来し餌(え)をついばむ。人間が、自然とのかかわりを拒み無関心になりはじめたところから、環境破壊がますますい勢いで進んだ。立川さんの野鳥への思いは、命の尊さについての何度かの体験と結びつく。春到来!身近な自然と仲良くし、くらしの中から自然環境問題について考えたい。インタビューアは、語りの伊藤眞弓さん。

——日だまりの中、縁側に腰掛けてこれからお話を伺うのですが、四冊の写真集「野鳥」を見せていただき、野鳥の美しさにすっかり魅せられてしまいました。立川さんはこれまでに何種類くらいの野鳥をお撮りになっているのですか。

立川さん 二百五十種類は撮っています。

——そんなにたくさんですか。撮った写真から何という鳥なのかを調べたりなさるのですか。

立川さん 最初のころは、そうでしたが、今では三百種類以上の

鳥が分かります。

——立川さんがお住まい(麻生区黒川)の近辺とか、私が住んでいる(中原区新丸子)近くの多摩川で撮影された作品が多いようですが、身近なところに、こんなにたくさん野鳥がいるなんて知りませんでした。

立川さん 多摩川をいれて、この周辺だけでも百五十種類はいるんですが、実際に見つけるのは、とつてもむずかしいんです。ただ、鳥仲間ができますと、お互いに連絡し合い、情報交換をしますので珍しい野鳥も見つけることが出来るんですね。

——野鳥のネットワークがあるのですか。でも、情報通りに野鳥と出会えないこともあるのでしょうか。

立川さん ええ、生き物ですし野生ですから。ただ、長い経験でいろんなことが分かってくるんです。たとえば、ほとんどの鳥は飛び立っても元に戻って来ますから、待っていれば必ず会えるということになります。

——そうしますと「待つて待つて、やっと撮った一瞬」という作品が、この写真集にたくさんある

「夏はおいらの季節なんだ」(コヨシキリ、北海道ベニヤ原生花園で)



「たくましい顔してゐる。でも、幼鳥と成鳥の間で年寄りじゃないよ」(ゴイサギ、神奈川県酒匂川で)



「耳で探し」パチリ250種類

散歩が10倍楽しくなる方法は…

のですね。

立川さん そういうことですね
(満面に笑みを浮かべ)。

——一瞬のシャッターチャンスなのですが、どの鳥も表情が豊かでびっくりしました。そのコツのようなのは……。

立川さん ええ。最初のころは、一瞬のチャンスを逃さずにシャッターを切ったつもりでも、鳥が写っていないかった、ことがありまし

た。やはり経験を積み、シャッターを切るカンを養うことですね。

——立川さんが、最初に写真を始められたのは戦争が始まったころということですが……。

立川さん 当時は徴兵制があった、軍隊に入ることが義務付けられていました。出征して戦地に行けば(戦死して)帰ってくる可能性はほとんどないと思ひまして、貯めた小遣いでカメラを買ったの

です。昭和十六(一九四二)年のことです。

——そのカメラで最初にお撮りになったモチーフは何でしたか。

立川さん 人物でした。鳥を撮り始めたのは、十八年前の昭和五七(八二)年ごろです。たまたま、望遠レンズを買って「望遠で何を撮ろうか」とあたりを見渡していたら、動いたのが鳥だったわけです(苦笑い)。はじめのうちには、ハトとかメジロでしたが、それでも撮るのはむずかしかったですね。——写真で、すぐ近くにいると感じられる鳥たちも、実際はかなり離れているということですね。鳥にどのくらいまで近づけますか。

立川 幸夫 さん

たちかわ・さちお=1926年1月1日、麻生区生まれ。14歳から農業を始める。19歳のとき、現役兵として愛媛県の部隊に入隊、四國から広島に移動する際、間一髪で被爆(原爆投下)を免れる。野鳥観察を始めて18年。この間に2度の闘病生活を送り、生きている聖(ひじり)さ、健康の尊さを痛感。92年、写真集「野鳥」第一集を皮切りに、今日までに第四集までを自費出版。栗木台小で野鳥観察会も。現在、同区黒川で妻、長男夫婦、孫4人の8人家族で暮らす。

立川さん 種類にもよりますが、大型の鳥は三十メートル以内にはなかなか近づけません。そういうことも頭に入れて撮影することも一つのコツになるわけです。——望遠レンズを構えながら探すのですか。

立川さん 目で探すのではなく耳からです。鳥の鳴き声でだいたいどこにいるか見当をつけると同じ時に、鳥の種類も見分けるのです。——立川さんは、ほんとうに鳥博士のようですね。

立川さん 日本には五百種類の鳥がいますが、私が目にしたのは



「ぼく、木の上から落ちたの。野犬が来たら食べられちゃうよ」(フクロウ、町田市で)



「親切な人間に助けられ、元気になったよ。フクロウもクロウするんだ」(同)

三百種類ほどで、そのうちカメラに収めたのが二百五十種類です。まだまだ楽しみが残っているという事です(弾むような口調で)。

——一羽の鳥を撮るのにどのくらいかかるのですか。

立川さん 何年も追いかけて絵にならないこともありますし、行った途端にシャッターチャンスが訪れて絵になることもあります。

——「絵になる」と表現されましたが、一羽の野鳥に向き合い、

立川さんがシャッターを切り作品にする……、それは感激ですね。

立川さん ええ、鳥と出会ったときも、シャッターを切る瞬間も、プリントになったときも、感激します(静かな笑顔で淡々と)。

——私たちが身近なところで野鳥に出会うには……。

立川さん やはり、注意して辺りを見渡すことが第一ですね。また、鳥の習性は種類によっても、季節によっても違いますから、そ

れをつかんでおかないで「ただ多摩川に行った」ということでは、鳥と出会えないですね。散歩や外出のとき、意識して鳥を見るようにしますと、だんだん興味がわいてくると思いますし、ちゃんと視野に鳥が入るようになります。

——立川さんは自然観察会を開き、小学生に野鳥と自然について、お話しなさっているようです。

立川さん 五、六年前から、自宅近くの栗木台小学校に依頼され、

伊藤 眞弓さん

いとう・まゆみ=米国G rand View College 卒業。仕事名は上朗読指導する。作家、演出、主宰。中原区在住。

月麻未。読み聞かせで公演。英語教室などにも参加。

室「話芸写」では担当。英学校や病院に。

たわら、曲を担任。盲学ランティ。

区在住。

年に一度、バードウォッチングをしています。

——具体的にどのような、なさるのですか。

立川さん 低学年から高学年までの縦割りの班をつくって、お弁当を持って一緒に歩くんです。

——子ども達の反応はいかがですか。

立川さん 子ども達はのみ込みが早いので、私が言ったことをすぐに理解して鳥を探します。また、その日のことをちゃんと感想文に書いて応えてくれます。

——「百聞は一見にしかず」で、子どもたちには実地が一番ですね。

立川さん そういうことです。

どんな子も自然の中を散策すれば、小動物や草花に興味を示します。年の差に関係なく同じように興味を持ちますので、お互いに親近感

「人も鳥もみんな自然の中でしか生きられない」

巣立ったヤマセミのヒナ。お話しも上手になった？（稲城市で）



「きょうは大漁だ。でも食べるのにひと苦労」（コサギ、稲城市で）



を覚えながら観察します。私も楽しみなが一緒に歩いていきます。

——ところで、立川さんは農業が本職。スズメやカラス、その他の野鳥は農作物の害鳥と思うのですが。

立川さん 確かに鳥たちが収穫期の一時期、米を食べたりするので害鳥と嫌われます。けれど、そ

他の時期には、小さな虫や害虫を食べてくれますから益鳥なのです。ですから、野鳥に愛着がわくのだと思います。

——かかしを立てて、鳥を追い払うこともなさらない？

立川さん ええ、しません。人間も鳥も四つ足も、みんな自然の中で生きています。お互い、

共存しなくては生きられないですよ。私はそういう気持ちです。

——だから、立川さんが鳥にカメラを向けても逃げないのですね。どの鳥も安心した表情で「撮ってもらっている」という感じですね。絵になった鳥たちの表情の中に、命に対する立川さんの深い愛情が感じられます。

立川さん そう感じて下さるのは、これまでに九死に一生を得る経験をしたり、大病をしたり積み重ねの中で、命の尊さというものを感じてきたことが、写真にも表れているのかもしれないね。

——写真集には、夜行性の猛鳥類や珍しい鳥がたくさん載っていますね。私の子供のころ、多摩川は、川面に泡がいっぱい浮いていて、美しい鳥たちと出会えなかったと思うのです。水質がよくなったことが大きいでしょうね。

立川さん もちろんです。開発が進んだ一時期は川の水が見えないほどの泡があり汚れていました。その後、汚水処理が進み洗剤も改良され、浄化された水が川に流れるようになりました。一時は魚がすめなかつたので、カワセミが幻の鳥のように思われ「動く宝石」と言われたこともあります。再び、小魚がすむようになって、カワセミが戻ってきました。いまでは、珍しくなく見ることができますが、本当に美しい鳥です。

——私、フクロウの二枚の写真も好きです。巣から落ちて困っている表情と、木の上に戻してもらってホッとしている表情が何とも

巢から落ちた幼ないフクロウ 友らと協力し救命に成功



いえないですね。これを撮られた時のお話をさせていただきますか。

立川さん フクロウというのは巢から落ちやすく、自力では巢に戻れないんです。地面に落ちたままですと、犬とか猫にやられてしまいます。たまたま、あれが落ちたところを見たので、写真を撮るのをやめて、まわりの人呼びか

けてから、近所の家ではしごを借りて、木の上に戻したのです。

——幼鳥とはいえ、猛鳥なので簡単に扱えないと思うのですが。

立川さん ええ。野鳥友達二人でフクロウに目隠しをして、こちらには手袋をはめて木の上に戻してやったのです。翌日、見にいきましたら、元気にしていました。そして、成鳥になって飛び立つところを見届けました。

——いい話ですね。落ちた時の悲しそうな目と、木の上に戻してもらい元気であれしそうな目に変わった写真を見て「本当によかった」と思いました。このフクロウは、町田にいたんですね。写真集を見ていて、自分もこういう野鳥に出会いたいと思います。この季節、どんな鳥に出会えますか。

立川さん 多摩川の河口に行きますと、シギの仲間やカモの仲間など、かなりの種類が見られると思います。

——なにを用意するればいいですか。

立川さん バードウォッチングに適している季節は三月末から六月初旬ですが、双眼鏡を持ってじっくり構えていますと、いろいろな鳥が見られると思います。

——農業のかたわら、撮影の時間をつくるのは大変では……。

立川さん 農業は昔から百の姓というくらい、暇がないのです。それでも、時間を工面して出掛けると、農業に身が入りませんから、いいんだらうと思います。サラリーマンの方が「定年になって、いつでも出掛けられるようになった」が、活力がなくなつた」と言っています。貴重な時間を割いて趣味に打ちこめる状態が一番いいようです。

——「定年になってから、何を

するか考えればいい」と思っている方は要注意ですね。「仕事の合間に、趣味の時間も作ってきたら定年になった」というほうが、生涯学習になりそうですね。最後に立川さんの夢をお聞かせいただけますか。

立川さん いろいろやってきて思うことは、やはり健康が大事だということですね。ですから、いつでも体につけて今までの趣味を続けていきたいですね。

——立川さんとの出合いを待ち、「モデルになりたい」と思っている二百五十種類の野鳥たちのためにも、頑張ってください。

題字は高橋清・川崎市長
構成／富樫 恭子
文責／田中 窓
カメラ／山本 綾子

立川幸夫さんの写真集「野鳥」(第四集まで)は、川崎市内の各区にある市立図書館にあります。

お願い 小誌編集室が一月十四日から、中原区今井南町に変わりました。ご提言、ご感想は裏表紙の発行場所へお寄せ下さい。



伊藤真弓さん

はりきってます グループ紹介

野鳥観察を楽しむ

かわせみ会

「あそこにホオアカがいるよ」「飛んでいるのはチヨウゲンボウじゃないかな」と子どものように目を輝かせて鳥を見ているのは「かわせみ会」 〓久我勝代表(74)ら二十人。二か月に一度の例会では、近郊の野山や川のほとりを歩き、野鳥観察を楽しんでいる。

この日は水鳥を中心に観察。双眼鏡や望遠鏡を持った会員が、京王線の聖蹟桜ヶ丘駅に集合した。多摩川にかかる関戸橋へ移動し、そこを出発点に川をくだり、大栗川との合流点まで、ニキロの道を歩く。「今日はどんな鳥と出会うかな」と心はずませる会員たち。

「カイツブリが泳いでいる。目ざとく見つけた会員が向こう岸を指さす。「あの鳥はもぐった場所とは別の所から姿をあらわすのよ」とベテラン会員が新人に話しかける。そばで、講師の野鳥写真家、叶内拓哉さんが「カイツブリはおなかがいっぱいの時のもぐり

ません」とその生態を解説する。「あそこの木の上にモズがいるよ」と男性が仲間に知らせ、望遠鏡を固定する。交代でレンズをの

ぞきながら「かわいいね」あれはオス？メス？どっち」と会話が続く。「さあ、どっちでしょうね。自分で調べてみましょう」と叶内さん。「いじわるしないで教えて」の声に笑いの渦。

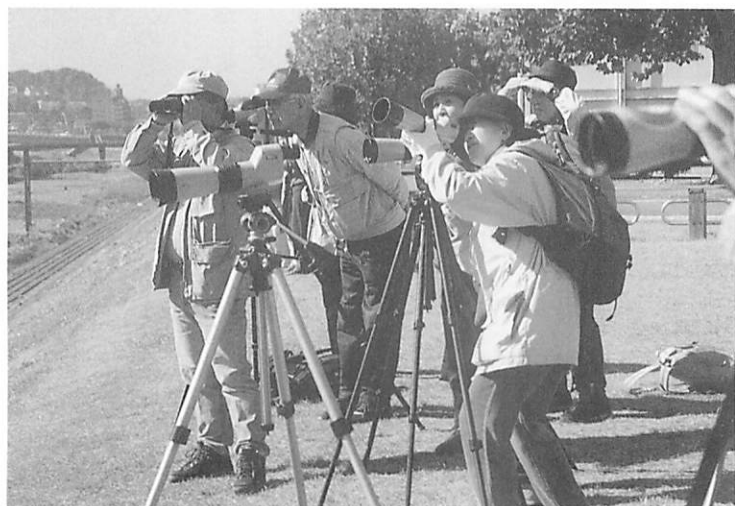
図鑑を広げ「目のところが黒いからオス」という人に、叶内さんは「若いオスだと、はっきりと黒が表れないこともあります。翼の

下のところに小さな白い点があればオスです」と見分け方のポイントを話す。「あつた、やっぱりオスだ」と無邪気に喜ぶ女性会員。

「タヒバリ、イカルチドリ、ハクセキレイ、アオサギ、モズ、カワセミ……」。ノートには観察した鳥の名や感想が記されている。

同会の発足は十三年前。多摩市民館の成人学校「バードウォッチング」の受講者有志で発足した。森下ゆり子さん(68)は「童心に帰って楽しんでいます。野鳥を見ることで視野が広がりました」と明るい。

愛らしい姿に感動
自然にふれる時間



船橋英子さん(65)は「以前にくらべて自然が荒れてきたと感じます」と話す。

三田重男さん(72)は「いろいろな種類の鳥に出会えるのがいいですね」と笑顔。

久我代表は「一人ではなかなか鳥を見つけれません。先生がそばにいて解説してくださるので良くなります。肩ひじ張らず置きなく話せる会です」。

連絡は ☎(966) 8362の久我さん(FAXなし)。

文 / 小誌・菅原純子
カメラ / 北川春江

仲間と楽しむ 学ぶ 活動する 生き生き

背筋を伸ばして 69歳はつらつと



「川崎実年ボランティアの会」中川良雄会長(77)の二十八人は、地域の学習グループや趣味のサークルなどに、ボランティアとして各人個別に出張し指導しているグループである。平均年齢は六十九歳。女性のほうが多い。

生花・フラワーアレンジ、刺しゅう・編物・和裁・パッチワーク、型染め・さやか人形、書道、健康体操・ヨガ・指圧・ダンス、英語等、それぞれが得意技を生かした多彩な活動である。

この日は、中原区のボランティアア連絡会の「福祉祭り」。中原区役所で午前中から体験コーナーが開かれた。「実年ボランティアの会」からも指圧健康法、フラワーアレンジメント、パッチワーク、さやか人形、型染めの五科目が参加。おのおの担当の会員が参加者に優しく丁寧に教えている。

「アルマジロに似ているね」「ねずみみたい」。歓声が上がると、このアレンジメントは細かい決まりがないので、小さい子どもから高齢者まで感性のまま自由に楽しむことが出来る。

同会の発足は、十五年前。市教育委員会の高齢者人材活用事業で活動し、登録した人達が始めた。市民館などで随時無料の教室を開き、要請に応じ、老人いこいの家、障害者施設などに出向いている。

「定年後資格を取って、健康体操や手話ダンスを教えています。これからもゆつくりと楽しみながら続けたい」と背筋をピンと伸ばして、元氣そのもの。

小林俊子さん(77)と岡部八重さん(72)は「続けるには人からエネルギーをもらうことが必要。ぜひ男の人やご夫婦で参加してほしいものです」と、希望を語る。

中川会長は「長年社会福祉行政に関わってきました。二十周年を目標に頑張りたい」と、意欲的。

連絡は ☎(722) 7273 の同会長。

特技を生かし教える

川崎実年ボランティアの会

文／北川春江
カメラ／小誌・菅原純子

仲間と楽しむ 学ぶ 活動する 生活を楽しむ

学習・文化情報

挑戦したい講座がある



講座・講演



「川崎市重要歴史記念物
「白山神社本殿」Ⅱ写真Ⅱ
現地特別公開講演会◆白山
神社他」3月26日(日)13時半

から。白山神社の建築につ
いて鈴木巨・文化学院講師
が講演。会場は真福寺町内
会館。その後同神社で解説。
受講料500円。50人、抽選。
なお本殿の特別公開は3月
24日(金)〜26日(日)の10時
15時半。 ㊦3月17日(金)ま
でに往復はがきに(1枚に

2人まで)住所、氏名、年
齢、性別、☎、返信部分に
あて名を記し、〒2101
0004川崎区宮本町6市
教委文化財課。☎(200)
3306。

「簿記1級検定準備講座
◆市労働会館」4月3日
7月3日の月・木曜13時
15分と日曜(2回)10時、
全27回。受講料2640
0円。先着35人。 ㊦3月
12日(日)9時から☎(22
2)4416。

「NKK市民大学講座」
ものづくりを支えるセンサ
1 技術◆市産業振興会館」
3月17日(金)13時半。もの
づくりの中で計測技術がど
のように活かされているか
センサーに着目して紹介。
テーマは「風を測る」鉄を
測る」「船型開発における
計測技術」。NKKの主任研
究員が説明。無料。先着80
人。 ㊦☎(322)607
8、日本鋼管テクノサービ
ス研究支援部内同講座係。

「講習会①春の庭木の剪
定②テラリウムの作り方◆
市緑化センター」①は3月
15日(水)13時半。無料②は
3月22日(水)13時半。教材
費200円。ウイスキーなど
のビンを持参。定員各30
人、抽選。 ㊦①は3月1日
(水)②は3月8日(水)までに往
復はがきに住所、氏名、講
習会名、☎を記し、〒21
410021多摩区宿河原
6の14の1、同センター。
☎(911)2177。

「講演会」新しいライフ
スタイルを模索する◆平こ
ども文化センター」3月10
日(金)10時から。講師は哲学
者の内山節さん。千円。保
育あり。 ㊦事前に☎・FA
X(856)8056、堀
内さん。母親クラブ主催。
「中原区家庭の健康セミ
ナー①ストレッチ体操②美
しい歩き方◆市総合自治会
館ホール他」①は3月3日
(金)13時半から。会場は市総
合自治会館ホール。ストレ
ッチ体操の実技と講話。講
師は健康運動指導士の木村
巨志さん。運動のできる服
装で参加②は3月29日(水)
13時半から。会場は中原区
役所5階会議室。ウオーキ
ング研究所長の駒崎優さん
が実技指導。いずれも無料。
当日直接。 ㊦☎(744)
3256、同区役所保健所
健康課。
「資格取得支援講座①簿
記3級②宅地建物取引主任
者資格受験準備セミナー③
消費生活アドバイザー資格
受験準備セミナー◆市中小
企業・婦人会館」①は4月6
日〜7月6日の月・木曜18

から、全26回。受講料は
検定料を含み約3万7千円、
教材費約4千円②は4月
6日〜10月5日の木曜13
時半から、全25回。受講
料約3万8千円、教材費約
3千4百円③は4月7日
9月29日の金曜13時半か
ら、全25回。受講料約3
万2千円、教材費約3万円。
いずれも先着50人。②③
は2歳から就学前の有料保
育あり。 ㊦3月15日(水)から
☎(422)2525。

「きもの着付け◆市中小
企業・婦人会館」4月6日
7月27日の木曜18時半か
ら、全15回▽4月9日
7月16日の日曜10時から、
全15回。対象は女性。入
会金約3千200円、受講料
約1万7千円。先着各30
人。 ㊦3月15日(水)から☎
(422)2525。

「4月からの講座◆市中
小企業・婦人会館」文学、手
芸、スポーツなどの89講
座の受講者を3月15日(水)
から募集。入会金約3千2

市外局番のないものは044

学習・文化情報

学習・文化情報

魅力的な講演がある

百円、受講料は1ヵ月2千
百円〜6千9百円。有料保
育あり。詳細は☎(422)2525。

「社交ダンス短期集中講座
◆川崎市民プラザ」4月
29日(土)〜5月5日(金)の10
時から全7回。ルンバとチ
ヤチャチャの基本と応用。
対象は初・中級者。男女先
着各15人。受講料1万円。
4月1日(土)から受講料を
添えてプラザフロントへ。
☎(888)3131。

「講演会〜健やかな高齢
社会のために◆麻生老人福
祉センター」4月19日(水)13
時半から。講師は加藤彰
彦・横浜市立大学教授。無
料。先着2百人。4月15
日(水)から☎(966)89
56。

「オープンカレッジ20
00年春期講座◆桜美林大
学生涯学習センター」4月
開講の語学講座(アジアの
諸言語他49コース)▽専門
講座8講座▽コンピュータ
講座6講座他の受講者を募
集中。受講料は6千〜4万
円。資料請求は☎042
(797)8092。

「公開講座①ストレンジ
ス(筋力)セミナー②スト
レンジス&コンディショニ
ングプログラム作成講座◆
玉川大学」①は3月4日〜
25日の毎土曜13時半から、
全4回。筋力トレーニング
の基礎技術を習得するため
の理論と実技②は3月4日
〜25日の毎土曜9時から、
全4回。受講料はいずれも
2万2千円。先着各20人。
☎042(739)88
95の同大継続学習センタ
ー。玉川学園前駅下車。

「川崎糖尿病市民講座◆
市産業振興会館」3月18日
(土)13時から。糖尿病の合併
症について、大迫内科クリ
ニックの大迫六郎さん他が
講演。無料。当日直接。☎
045(474)036

「かしこい消費者講座〜
増える輸入食品の安全性を
考える◆市中小企業・婦人
会館」3月17日(金)10時から。
輸入食品の現状や問題点を
知り、食のあり方を考える。
講師は日本子孫基金の三宅

征子さん。無料。先着80
人。4月3日9時から☎
(200)2262、市消
費者行政センター。
①親子体験教室「野草の
てんぷらと風づくり」②乳幼
児学級「ふれあい」から
みつめよう、育ち合う心◆
高津市民館他①は3月25
日(土)10時〜15時。多摩川
河川敷で実施。雨天は同館。
対象は6歳〜小学3年まで
の子供とその親。先着15
組。費用は材料費1組5百
円と保険料②は5月11日
〜7月13日の毎木曜10時
から、全12回。対象は4
月1日現在で満2歳以上の
子供とその親。25組、抽選。
子どもは別室で保育。無料。
保育保険料と教材費は実
費。☎①は3月1日(水)10時
から電話で申し込む②は
4月10日(月)までに往復は
がきに住所、親子の氏名、
☎、子供の生年月日を記し、
〒213-00001高津区
溝口1-4の1の同館。☎
(814)7603。

「神奈川ニューライフカ
レッジ公開講座①はじめて
のジャズボーカルを楽しむ

②人体デッサン◆登戸ドレ
スメーカー学院①は3月
13日(月)13時半と19時。発
声や表現方法を学ぶ。講師
は太田昌宏さん。受講料各
千円。先着各15人②は3月
12日(日)13時。人体の動き
をアードクローキにて学
ぶ。講師は前田恒憲さん。
2千5百円。先着20人。持
参品はB以上の鉛筆とクロ
ッキーブック。4月午前中に
☎(911)2221。

「家庭の健康セミナー①
健康な生活を送るための食
事づくり②生涯スポーツと
してのニュースポーツの体
験学習③見えていますか?
子どもの心のサイン◆麻生
保健所他」①は3月6日(月)
10時から。八倉巻和子・大
妻女子大教授が講演。当日
直接②は3月9日(水)9時半
から。市レクリエーション
連盟理事長の平川栄吉さん
が実技指導。先着50人③は
3月15日(水)14時から。聖
路加国際病院医師の太平健
さんが講演。当日直接。会
場は①③が麻生保健所②は
黒川青少年野外活動センタ
ー。いずれも無料。☎②の

み☎(965)5157同
保健所健康課。
「春の文化講座①写真を
語る②均文相続と遺言③パ
ンジーの里を訪ねて◆中原
市民館他」①は3月16日(木)
14時から。テーマを決めて
写真を撮る。講師は日本写
真協会会員の平山仙之助さ
ん②は3月22日(水)18時か
ら。講師は中原区文化協会
会員の野口賢次さん③は4
月4日(火)10時、武蔵中原駅
改札口集合。小田中花井生
産組合員が案内。定員は①
②40人③30人。先着順。
いずれも無料。☎①②は3
月3日(金)③は17日(金)10時
から☎(722)7171、
同館内中原区文化協会。

「健康ビデオ講座〜健
康は笑いから②野草講座◆
宮前老人福祉センター」①
は3月27日(月)13時半から。
講師は落語家の春風亭梅枝
さん。対象は60歳以上。無
料。先着60人②は3月21
日(火)〜23日(木)の9時半か
ら、全3回。黒川周辺の野
草とりと天ぷらうどん作り。
対象は60歳以上で3日間
参加できる人。費用7百円。

①は3月6日(月)
10時から。八倉巻和子・大
妻女子大教授が講演。当日
直接②は3月9日(水)9時半
から。市レクリエーション
連盟理事長の平川栄吉さん
が実技指導。先着50人③は
3月15日(水)14時から。聖
路加国際病院医師の太平健
さんが講演。当日直接。会
場は①③が麻生保健所②は
黒川青少年野外活動センタ
ー。いずれも無料。☎②の

み☎(965)5157同
保健所健康課。
「春の文化講座①写真を
語る②均文相続と遺言③パ
ンジーの里を訪ねて◆中原
市民館他」①は3月16日(木)
14時から。テーマを決めて
写真を撮る。講師は日本写
真協会会員の平山仙之助さ
ん②は3月22日(水)18時か
ら。講師は中原区文化協会
会員の野口賢次さん③は4
月4日(火)10時、武蔵中原駅
改札口集合。小田中花井生
産組合員が案内。定員は①
②40人③30人。先着順。
いずれも無料。☎①②は3
月3日(金)③は17日(金)10時
から☎(722)7171、
同館内中原区文化協会。

「健康ビデオ講座〜健
康は笑いから②野草講座◆
宮前老人福祉センター」①
は3月27日(月)13時半から。
講師は落語家の春風亭梅枝
さん。対象は60歳以上。無
料。先着60人②は3月21
日(火)〜23日(木)の9時半か
ら、全3回。黒川周辺の野
草とりと天ぷらうどん作り。
対象は60歳以上で3日間
参加できる人。費用7百円。

学習・文化情報

探していた講座がある

日(土) 4月1日(土)、横田安



「スナック喫茶琴」3月4日(土) 4月1日(土)、横田安

ギャラリー



先着20人。①は3月17日(金)9時から電話②は3月6日(月)11日(土)の9時16時に来館。☎(877)9030。

「講座の受講者募集◆宮前老人福祉センター」4月から開講するカラオケ・俳句・健康体操他の受講者を募集。対象は市内在住の60歳以上。無料。教材費・保険料は実費。③3月27日(月)31日(金)の9時16時、来館。詳細は☎(877)9030。

「中村正義の美術館」3月1日(水)4月23日(日)、「顔」展。紙本着彩「顔」Ⅱ写真Ⅱ他35点。一般500円、学生300円。月・火休館。☎(953)49366。読売ランド前駅からバス。

「子育て講演会」Enjoy子育て②ミニ教室「初心者のための創作折り紙」◆麻生市民館①は3月7日(火)10時から。講師はワークショップ「りんごの木」主宰の柴田愛子さん。2歳以上の保育あり。先着20人②は3月22日(水)10時から。日本折紙協会講師の中嶋磋智子さんが指導。材料費50円。①は保育希望者のみ同館へ電話②は3月7日(火)10時から☎(951)1300。

「サークル祭講演会」こが聞きたい介護保険」◆麻生市民館」3月25日(土)14時から。講師は元厚生省社会局施設課長の荻生和成さん。無料。③3月14日(火)10時から市民館事務所前で整理券配布。☎(954)181の本玉さん。同実行委と麻生アッサン研究会の共催。



「画廊ランブ屋」3月3日(金)19日(日)、恒例「ヨーロッパ巨匠アートポスター展」Ⅱ写真。オリジナルリトグラフの貴重なもの約200点を展示③20日(月)から、常設展。絵画、版画他。火曜休廊。☎(954)416。稲田堤駅下車。

「会館とどろぎ」3月1日(水)13日(月)、市立障害児学校児童生徒作品展③3月14日(火)31日(金)、教職員互助会「趣味の会写真展」☎(555)8100。川崎駅西口下車。

4・5月開講の資格取得支援講座の受講者募集

講座名	日時	定員	受講料/教材費	申し込み期間
カラーコーディネーター3級	4月6日～6月1日の木曜 13時半～16時半、全8回	30人	25,000円/8,000円	3月7日(火)～10日(金)
インテリアコーディネーター1次対策	4月10日～8月7日の月曜 13時～16時半、全17回	35人	40,000円/26,500円	3月14日(火)～17日(金)
宅地建物取引主任者 資格試験準備	4月22日～10月7日の土曜 9時半～12時半、全23回	50人	46,500円	3月21日(火)～24日(金)
社会保険労務士 答案練習	5月13日～8月6日の土・日曜 9時半か13時～16時半、全9回	50人	20,000円/5,500円	4月11日(火)～14日(金)
TOEIC 初級	5月13日～10月7日の土曜 10時半～12時半、全15回	25人	20,000円/8,000円	4月18日(火)～21日(金)
TOEIC 中級	5月13日～10月7日の土曜 13時半～15時半、全15回	25人	20,000円/8,000円	4月18日(火)～21日(金)

■会場：生涯学習振興事業団新百合分室（小田急線新百合ヶ丘駅下車徒歩2分 新百合21ビル内）
 ■申し込み・問い合わせは、10時～16時に☎044(952)5000の生涯学習振興事業団

学習・文化情報

参加したい催しがある

催し



「PETボトルよどこへいく◆エポックなかはら」3月2日(木)15時半。「循環型社会基本法の中に生産者責任を明確に」をテーマに、慶應大学教授・細田衛士さんの話▽パナエルディスプレイン。パネリストは西友環境対策室長・小林珠江さん、東京容器協会常務理事・笠井仁志さん他。無料。☎(955) 25333の飯田さん。川崎・ごみを考える市民連絡会主催。

「アリラン祭」学校と地域を結ぶ民族文化祭◆市労働会館」3月20日(月)13時から。在日韓国・朝鮮人との交流を通じて人権問題の理解を深める。無料。韓国・朝鮮の音楽・舞ほかの発表▽高校生の体験発表▽展示。☎(855) 2631川崎北高校の福本さん。

「人形劇」ふたりのお話◆岡上分館」3月11日(土)13時半開演。無料。先着60人。☎3月4日(土)10時から同館で整理券を配布。☎(9

88) 0268。

「かながわ民俗芸能フェスティバル」川崎市民俗芸能発表会◆麻生市民館」3月12日(日)10時開演。麻生区の栗木粉屋踊保存会Ⅱ写真Ⅱ他の出演。無料。☎(200) 3306の市教委文化財課。



「私たちはなの里を歩こう」久末コース◆プラザ橋」3月25日(土)9時半同館集合。小雨決行。無料。先着25人。☎3月10日(金)10時から☎(788) 1531。

「シネマクラブ」川崎マリエン」3月12日(日)14時。米映画「マトリックス」上映。無料。当日先着3百人。

☎(287) 6009の川崎港振興協会。

「1星を見るタベ」天体撮影会◆市青少年科学館」①は3月11日(土)19時。月齢5日の月を観望。無料。曇り、雨はフナタリウム。小学生以下は要保護者。当日直接②は4月12日(水)、月齢8日の月を撮影。小学5年生以上先着10人。持参品あり。☎3月25日(土)から☎(922) 4731。

「観察会」生田緑地」3月12日(土)26日の毎日曜9時50分、青少年科学館集合。野鳥・昆虫・地質を観察。無料。小雨決行。当日直接。☎(922) 4731。

「春のラテンとジャズのタベ」川崎市民プラザ」3月5日(日)18時開演。東京キユーバン・ボイズJr出演。無料。当日直接。☎(888) 3131。

「市民がスターのステージ・アップを語る会」アサオガーデン」3月24日(金)12時半から。市民のくらしに根ざし、市民が互いに学びあう情報誌づくりを手がけた編集人交代を機に開く。

軽食をとりながら、市民のこれからのホットに楽しく話し合う市民の自主企画。会費3千円。50人、抽選。☎3月10日(金)までに☎・FAX(987) 6035の富樫さん。会場は新百合ヶ丘駅から徒歩5分。

「高津区生涯学習交流集会」あなたと私の情報発信」つなげよう仲間の輪」◆高津市民館」3月11日(土)13時。全体会は、堺敦生トリオのミニコンサート。分科会のテーマは、歌とリトミック体操▽食生活から見た介護▽子どもの権利条例について他。分科会は先着各50人。受付中。☎☎(814) 7603。

「市民健康デー」幸市民館他」3月22日(水)9時半からストレッチ、健康づくり運動、親子体操などを幸スポーツセンターで。13時から講演。「タバコ病って何？知ってほしい煙の驚異」のテーマで、内田内科院長・内田和仁さんの講演。☎(522) 7316の幸区役所保健所健康課。

「教育を語るつどい」大

人が変われば子どもも変わる◆多摩市民館」3月25日(土)13時。分科会のテーマは「いま、地域でおとなは、子どもは…」らしさってなに？中高生とおとなのバトルトーク」学校はほんとうに変わるの」。当日直接保育(2歳以上)、手話通訳希望者は3月15日(水)まで電話で申しこむ。☎(935) 3333、同館内多摩区地域教育会議事務局。

「春休みイベント」輪投げゲーム②吹奏楽③映画④パソコンゲーム◆東芝科学館」①は3月24日(金)13時半と3月30日(木)10時。賞品あり②は3月27日(月)13時半。御幸中学吹奏楽部の演奏③は3月28日(火)10時と13時半。「ゴジラ対メカゴジラ」他上映④は3月27日(月)31日(金)10時〜16時。パソコン20台で「スカイアドベンチャー」ほかいろいろなゲームソフトを楽しむ。いずれも無料。当日先着順。

①②③は定員250人。④は順次交代。☎(549) 2200。川崎駅からバス。「工作教室」手作りハガ

学習・文化情報

たのしいスポーツがある

スポーツ

キ②紙ヒコーキ③和紙を使ったしおり◆東芝科学館
①は3月29日(水)10時と13時半②は3月31日(金)10時と4月1日(土)13時半③は4月3日(月)10時と4日(火)13時半。対象は①は小学4年以上②③は小学生以上。教材費は①③は無料。②は200円。各先着50人。☎(549)2200。
①教育を語る集い講

「武道演武会◆石川記念武道館」3月5日(日)13時から、剣道、柔道、空手道、合気道、なぎなた、少林寺拳法の模範演技を披露。当日直接。☎(544)0493。

①テニス教室(初・中級◆富士見テニス場)4月20日～6月29日の毎木曜、全10回。初級は9時半、中級は11時半から開始。定員各18人、抽選。費用は各1万1千円。☎4月5日(必)着で往復はがきに住所、氏名、年齢、☎、コース名を

演「子どもと共に生きる」
②生涯学習交流集会◆幸市民館 ①は3月11日(土)13時半②は3月19日(日)13時半。市民館に集い、共に学んだことを発表する。いずれも定員150人。無料。☎または直接来館。☎(541)3910。
①生涯学習交流集会②サークル祭◆宮前市民館 ①は3月19日(日)10時。工

記して211100644中原区今井南町514の1市生涯学習振興事業団スポーツ事業室。☎(733)5572。

「ゴルフ教室①水曜コース②金曜コース◆川崎ゴルフ練習場」①は4月19日～6月28日の毎水曜(祝日を除く)②は4月21日～6月30日の毎金曜。時間はいずれも10時半。各全10回。定員は各15人、抽選。受講料は各2万1千円。クラブ、手袋、靴を持参。☎①②とも3月24日(必)着で往復はがきに住所、氏名、年齢、☎、コース名を記して211100644中原区今井南

イサー(沖縄民舞)の発表や、区内の学習グループの活動報告②は4月7日(金)9日(日)10時。市民館で活動している学習グループの発表や展示他。無料。当日直接。☎(888)3911。
「あさおサークル祭◆麻生市民館」3月25日(土)10時～17時。麻生テッサン研究会他の公開講座や学習発表△26日(日)10時～21時。

町514の1、市生涯学習振興事業団スポーツ事業室。☎(733)5572。
「シルバースポーツ教室」はつらつ健康体操◆幸スポーツセンター 4月20日～6月29日の毎木曜13時半、全10回。60歳以上。受講料千200円。☎4月6日(日)13時半に同館で抽選。☎(555)3011。

「教室①空手道②剣道③少林寺拳法④合気道⑤なぎなた⑥柔道◆石川記念武道館」①は4月22日～7月8日の毎土曜18時15分から、全12回。30人②は5月16日～7月6日の火曜と木曜17時から、全16回。30人

麻生哲学同好会他の公開講演会・展示・コンサート。要参加費の催しあり。当日直接△4月7日(金)～12日(火)、市民ギャラリーで美術展。詳細は☎(951)1300。
①生涯学習交流集会、あさお 学び人のつながりを深めるつどい②国際交流ルーム(井戸端(1DOBATA)のつどい◆麻生市

③は5月18日～7月6日の毎木曜18時から、全8回。30人④は5月20日～7月8日の毎土曜16時半から、全8回。30人⑤は5月20日～7月8日の毎土曜15時から、全8回。20人⑥は5月23日～6月8日の毎火・木・土曜の18時から、全8回。20人。対象はいずれも小学生以上。受講料はいずれも子供1回50円、大人100円。☎各教室とも4月9日(日)10時に同館で抽選。☎(544)0493。

①親子体力づくり教室
②リフレッシュ体操◆とどろきアリーナ ①は4月4日～5月23日の毎火曜10

市民館 ①は3月18日(土)13時半。「つながりづくりのトークリレー」私たちが築いてきたもの、創っていききたいこと」をテーマに全体集会②は3月9日(木)14時。毎木曜に開いている国際交流ルームのあり方について意見交換。無料。当日直接。☎(951)1300。

時から、全8回。3・4歳児とその保護者30組。受講料2千400円②は4月5日～5月31日の毎水曜10時から、全8回。40歳以上。1回300円。当日直接。☎①は3月17日(金)10時に同館で抽選。☎(798)5000。

「川崎いのちの電話チャリティーコンサート」島田祐子とともに◆エポックなかはら」3月8日(火)18時半開演。全自由席3千500円。☎(434)0253の川崎いのちの電話事務局。

ステージ

学習・文化情報

ききたい音楽がある



「たかつホールDEコンサート◆高津市民館」3月18日(土)14時開演。出演は溝口マンドリンアンサンブル、宮前ウィンドオーケストラ他。無料。先着順。整理券配布中。☎(814)7603。

「かわさきファミリースプリングコンサート◆教育文化会館」3月31日(金)14時開演。オーケストラのしくみや楽器の紹介も交えたコンサート。演奏は梅田俊明指揮、読売日本交響楽団

II写真。ブライムス「ハンガリー舞曲第5番」スツペ「軽騎兵」他。大人2千円、中学生以下千円。全席自由。チケットは各市民館他で発売中。☎(200)2280の市民局市民文化室。

「ランチャイムコンサート」トク春の色々コンサート

◆市役所第3庁舎」3月15日(水)12時15分開演。出演は渡辺礼子(ソプラノ)城健治(バイオリン)金柄守彦(クラリネット)他。曲目は中田章「早春賦」サラサ一「ツイゴイネルワイゼン」他。無料。☎(222)8821の市文化財団。

「春風亭小朝II写真II独演会◆川崎市民プラザ」3月18日(土)18時開演。小朝一門の落語。全自由席2千5百円。プラザフロント他で発売中。☎(888)3131の同プラザ。



「音楽劇」MUSICAJAM DREAM「ONE STEP」◆多摩市民館」3月24日(金)と29日(水)、いずれも18時半

「新々百人一首」丸谷才一著

多摩区菅北浦 星丘直樹さん

(新潮社、三千六百元)

お勧め本

現代の文学の碩学が、小倉百人一首にならって、新たに王朝和歌から百人の歌を選んだものである。歌を選ぶとともに、歌の解説を思う存分繰り広げている。歌の意味、作家態度を明らかにするの、関連する歌をいくつも取り上げ、当の歌人の作歌意識を分析し、言の葉の持つ呪術的な意味合いなども含めて解説して

開演。川崎で初めての中高生による手作りの音楽劇。無料。3月1日(水)より入場券を同館で配布。☎(935)3333。

①よみうり日本テレビ

文化センター寄席②川崎少年少女合唱団公演◆東芝科学館」①は3月25日(土)14時開演。山際かおるの落語他②は3月30日(水)13時半開演。①②とも当日先着250人。無料。☎(549)2200の同館。

「スプリングコンサート

◆サカモト・ミュージック・スクール鷺沼校」3月12日(日)14時半開演。出演は鈴木恵子・杉村八重(ソ

ラノ)高橋かおる(ピアノ)他。曲目はモーツァルト「キラキラ星変奏曲」、ブラーガ「天使のセレナータ」他。2千円。☎(854)6581。

会員募集

●スリーエスの会(阿部尚三代表)50代から80代までの会員が、和気あいあいと川柳の勉強をしています。指導は日本川柳協会常任幹事の唐沢春樹さん。定例会は第2水曜、13時半から、中原市民館。月会費千円。連絡は☎(855)2384の同代表。

いる。西洋文学とともに古典にも通じる、選者の知識の深さには、ただただ驚くほかない。

定家卿の選歌には、後鳥羽上皇への配慮があったり、われ、百首のなかには同じような趣向の歌があったり、この歌人になぜこの歌がと思われるところもある。ただ、恋の歌だけは秀歌が多いようである。

新々の場合、近代になって消極的に評価された職業歌人の歌に、技巧に止まらない、王朝和歌として育まれた美意識、表現法の意義を問い直している。歌人そのものよりも、あくまでも王朝和歌の鑑賞に終始している。

※お知らせ 今回で「お勧め本」を終了します。

